

ズービン・メータ 指揮 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

巨匠メータと「世界」の弦――固い絆の最強コンビ、祝50周年!

ストラヴィン斯基
「春の祭典」

マーラー
交響曲第1番「巨人」

Conducted by Zubin Mehta

The Israel Philharmonic Orchestra

Photo:Kiyonori Hasegawa



Photo:Herbert Bishko

2010
11/9 (火)
PM6:45開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥22,000 A ¥18,000 B ¥14,000
C ¥ 9,000 学生 ¥3,000 (税込)

お問い合わせ
お申込み 中京テレビ事業 052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30/土 日 祝日休業)

インターネットからでも
お申込み頂けます。<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

チケット販売所

チケットぴあ (Pコード 102-858) 0570-02-9999
愛知芸術文化センターブレイガイド 052-972-0430
ローソンチケット (Lコード 40722) 0570-084-004
栄ブレヂケ92(旧三越PG) 052-953-0777
中日サービスセンター(中日ビル1F) 052-263-7282
イープラス eplus.jp 他

(学生券)

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

●曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ●未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催 / 中京テレビ放送 企画・運営 / 中京テレビ事業

5/29(土)AM10:00~発売開始!

至高のオーケストラ体験がここに!!

数々の名オーケストラや名門歌劇場で演奏会にオペラにと辣腕をふるう円熟のマエストロ、ズービン・メータ率いるイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団(IPO)は、その個性において他の追随を許さない、まさに世界でただひとつの“特別なオーケストラ”です。

メータとIPOの関係は、メータが25歳のとき、1961年に初めてその指揮台に立って以来のこと、2010年のこの日本ツアーから記念すべき共演50周年シーズンの幕開けとなります。1969年からは音楽顧問として、そして1977年からは音楽監督として、メータは多忙な指揮活動の大半をこのオーケストラとともに歩んできました。これほどの固い絆で結ばれた名指揮者と名門オーケストラは現在世界でも他に類を見ません。

そして今回、メータ&IPOが満を持して皆様にお贈りするのは、絶対の自信を持つマーラーとストラヴィンスキー。特にマーラーへのメータの取り組みは以前より深く、なかでも過去日本公演で大絶賛された交響曲第1番「巨人」と、圧倒的な迫力のストラヴィンスキー「春の祭典」という、究極の贅沢ともいべきプログラム!

大編成のオーケストラをたっぷりと豊麗に響かせ、ダイナミックでスケールの大きい音楽をつくりだすメータと、ウィーン・ベルリンを凌ぐとさえいわれ、“世界一の弦”と称せられるイスラエル・フィルの黄金の組み合わせ。まさにホールはその“響演”によって、至福の空間となるでしょう。



ズービン・メータ (音楽監督)

ZUBIN MEHTA (Music Director)

1936年インド、ボンベイ生まれのズービン・メータは、これまで世界の檜舞台で活躍を続けてきた。メータの指揮者としての華々しいキャリアは、1954年にウィーン音楽院で名匠ハンス・スワロフスキイに師事したところから始まる。1958年22歳の時に、イギリスのリヴァプール国際指揮者コンクールで優勝してその実力を認められ、翌年ウィーン・フィルに招かれ大成功を収める。この時の指揮について、名指揮者のヨーゼフ・クリップスから“第2のトスカニーニの誕生”という最大級の賛辞を贈られる。以来、世界中のオーケストラからの招聘が相次ぎ、1961年からモントリオール交響楽団の音楽監督、1963年からロサンゼルス・フィルの音楽監督兼常任指揮者、そして1978年からニューヨーク・フィルの音楽監督に就任し、世界的な人気と名声を博した。

イスラエル・フィルには、メータが25歳の1961年に初めて登場し、以来1969年から音楽顧問、1977年から音楽監督に就任し、緊密で絶妙のコンビネーションは、まさに一心同体ともいえる完成度の高さを誇っている。

近年メータは、オペラ指揮者としての活躍も目覚ましいものがあり、1985年からフィレンツェ歌劇場では数多くの名演を重ねるかたわら、1998年からはバイエルン国立歌劇場でも手腕を奮った。2001年には、春と秋にわたりこの二つの歌劇場の日本公演を大成功に導き、この有名歌劇場の日本公演は、2005年2006年と続けて行われ、そのいずれもがメータによって指揮され、その衝撃的な成功は日本の音楽史に名を残す名演のひとつとして数えられるであろう。

2007年には、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートで指揮し、日本でも大きな話題となったが、その2ヵ月後には、イスラエル・フィルとの創立70周年記念ツアーを日本各地で行い、各地で絶賛された。2008年には、その高い実績を評価され世界文化賞を受賞。

2010年のイスラエル・フィル日本ツアーは、彼とイスラエル・フィルとの共演50周年を記念するシーズンの始まりを華々しく飾るツアーとなる。

メータは現代の名指揮者のなかでもとりわけ、その風格とカリスマ性で益々絶大な人気と支持を誇っており、今後も巨匠として更なる活躍に大きな期待が寄せられる。



イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

THE ISRAEL PHILHARMONIC ORCHESTRA

イスラエルを代表するオーケストラであるイスラエル・フィルの前身であるパレスチナ交響楽団は、1936年に誕生した。イスラエルという国家の成立よりも10年以上も前のことであり、ユダヤ系ヴァイオリニストのプロニスラフ・フーベルマンの呼びかけでユダヤ系音楽家たちによって結成された。その後、1948年のイスラエル共和国建国とともに、現在のイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団に改称された。

イスラエル・フィルは結成当時以来の伝統である、優秀なユダヤ系音楽家の奏でる響きで、いまやウィーン・フィルやベルリン・フィルの弦楽セクションの響きをしのぐ、“世界一の弦”と称せられるほど、艶やかで独特の濃密な色彩感をそなえている。この厚みのある弦楽器をベースに、豊麗な管楽器が生み出すイスラエル・フィル特有のサウンドは、世界で唯一のオーケストラと呼ばれる所以である。第2次大戦後、1950年に初のアメリカ公演で大成功を収め、その名声を高める。日本へは、1960年に初来日して以来、度々来日公演を行い、多くの聴衆の心をとらえている。先に日本でも行われた2007年のIPO70周年記念ツアーでは、大きな反響を呼んだことが記憶に新しい。

イスラエル・フィルでしか演奏できない豊麗な特有のサウンドは、聴き手に熱い興奮と深い感動を与え、これまでの日本公演でも、マーラー、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナーのドイツ音楽、ドヴォルザークや、リムスキー＝コルサコフ、ショスタコ维奇などのロシア・スラヴ系の名曲にいたるまで、じつに幅広い多彩なレパートリーで、名演を繰り広げ毎回大盛況を博し、毎回日本各地のコンサートホールを埋めた満場の音楽ファンの絶賛を浴び、巨匠メータ=イスラエル・フィルの人気と存在感はますます高くなっている。